



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 ユー・ア・ワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石 叫■

「柔道の道とは」

今回のものは以前「石叫」で書いた『日本柔道の凋落』をお読み下さった「全国柔道事故被害者の会事務局」の小林恵子氏からのものである。実に心が痛む。

『日本柔道の凋落』を拝読させていただきました。日本の子ども達の命に目を向けて下さり、深く感謝申し上げます。私の息子は脳に大きなダメージを受けましたが奇跡的に助かり、高次脳機能障害者となっております。私共の会は被害者家族の集まりでございますが、『死亡事故をゼロにする』ことを活動目的として二年前に会を立ち上げました。柔道を非難することは一切せず、武道必修化に反対の姿勢も一切取らず、私共の話を聞いて下さる方御自身が考えて下さる種を蒔き続けました。この二年間で四回のシンポジウムを開催し、脳神経外科医、社会学者、法医学者、乳幼児虐待の専門医、工学博士をお呼びして、科学的に柔道事故の発症原因や事故分析、そして事故防止の提言をして参りました。私共の活動に耳を傾けて下さった方々が、文芸春秋の柳澤健様のように更に種を蒔いて下さり、アメリカでも芽を出して下さいました。私は欧米各国の柔道連盟に子ども達の死亡事故を問い合わせました。各国からの返事は、少なくともこの十年間死亡事故は勿論のこと脳損傷も皆無でした。唯一カナダで一九九〇年代に二人の子どもが命を失いましたが、柔道連盟自身がいかに死亡原因を調査し、脳振とうが引き金となったことを突き止め、脳振とう対策をしっかりと行うことでそれ以降、重篤な事故は皆無だそうです。見も知らぬ日本の一母親の問い合わせに、カナダは最初の返信で上記を伝えて下さいました。文科省は私共の調査を信用なさらず、独自に調査機関に調査を依頼しましたが、結果は勿論同じでした。方や日本の柔道連盟は、事故そのものも隠蔽しようとなさり、加害者となった柔道家を守ることにのみ汲々とし、柔道の『道』は何を意味しているのかと残念に思います。(実は指導者が加害者となっている場合が非常に多いのです。)子ども達の命を柔道から守るには、私共の声だけではまだまだ小さ過ぎます。アメリカでも種を蒔いていただければ幸いです。

主イエスは「私は道であり、真理であり、命である」(ヨハネ一四・6)と言われた。真の道は永遠の命へ通じるといふ。その道を歩いて私たちは永遠の世界に入つてゆく。そのために主は踏まれ、十字架でなぶり殺しにされて死んで行く。でもそれは救い主の宿命であった。「道」とは自らを捨てて、他者を活かすことだからである。このような道にこそ日本柔道の明日があると思うのだが。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

